

学校保健

(題字は元北海道学校保健会会長 吉田 信)

発行
公益財団法人北海道学校保健会
札幌市中央区大通西6丁目
北海道医師会館5F
☎(011) 221-5240



年頭にあたって

北海道学校保健会 会長
北海道医師会 会長
松家治道

新年あけましておめでとうございます。初春を迎えるにあたって、ひと言ご挨拶申し上げます。

日頃より、学校保健・学校安全にご尽力をいただいている皆様方に、心より敬意と感謝を申し上げます。

昨年は釧路市において、第72回北海道学校保健・安全研究大会を開催することができました。開催にあたって多くの関係者の皆様にご尽力いただきましたことをこの場をかりてお礼申し上げます。また、今年は今知安町におきまして、第73回北海道学校保健・安全研究大会を開催する予定です。多くの学校保健関係者の皆様のご参加を期待しております。

昨年末は、インフルエンザが猛威を振るい、北海道ではインフルエンザ警報が発令されました。学校においても感染が拡大し、学級閉鎖等が多くみられ、学校現場の先生方におかれましては、その対応に大変苦勞されたこと

と存じます。年が明け、冬休みも終わり、学校が始まっていることと思いますが、これまで通り、換気、手洗い、必要に応じてマスクの着用などこれまで培ってきた知見を活かし、地道に感染症対策を行い、子どもたちの健康増進に努めていただきたいと思います。

近年、社会環境や生活環境の急激な変化により、子どもたちは多くの健康課題を抱えています。肥満や痩身、生活習慣の乱れ、メンタルヘルスの問題、オーバードーズ、視力の低下、また、いじめや虐待、ネグレクトなど、どれも子どもたちだけで解決できる問題ではありません。

本年も学校・家庭・地域社会の関係者と三師会ははじめ関係機関が英知を結集し、強力な連携のもとに子どもたちの健康・安全の保持・増進に努めて参りますので、ご支援・ご協力くださいますようお願い申し上げます。

目次

○巻頭言 「年頭にあたって」	北海道学校保健会 会長 北海道医師会 会長 松家治道……	1
○令和7年度北海道学校歯科保健優良校表彰・ 北海道歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール		2
○第72回北海道学校保健・安全研究大会釧路大会報告		4
○「学校等欠席者・感染症情報システム」について		8

令和7年度 北海道学校歯科保健優良校表彰 北海道歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール

「北海道学校歯科保健優良校表彰」と「北海道歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール」が行われました。

学校歯科保健優良校表彰

この表彰は、「歯及び口腔の健康に対する関心を高め、その目的に向かって学校歯科保健活動を積極的に展開している努力を称えるため」に行っています。

令和7年6月26日(月)北海道歯科医師会館において審査を行い、その結果、下記の学校が選ばれました。

【小学校の部】

<最優秀賞>

札幌市立新琴似北小学校

<優秀賞>

登別市立登別小学校

苫小牧市立沼ノ端小学校

受賞された学校の皆さん、おめでとうございます。令和8年度につきましても実施する予定ですので、歯科保健活動に取り組んでいる学校は是非応募して下さい。

応募方法につきましては、新年度になりましたら、北海道歯科医師会のホームページ等でご案内致します。

図画・ポスターコンクール

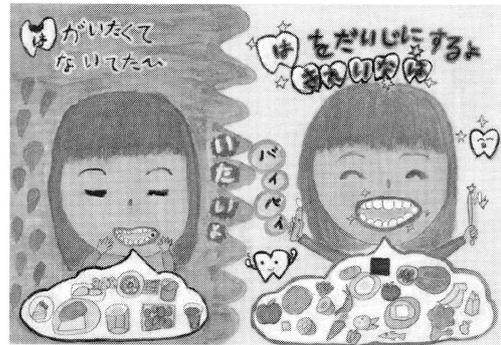
令和7年度北海道歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクールでは、全道113校から4,172点の作品の応募がありました。その中から69点の優秀作品が選ばれました。優秀作品は、北海道歯科医師会のホームページに掲載されています。

◆北海道知事賞

【低学年の部】

釧路市立愛国小学校 1年生

柴田 羽宙



【高学年の部】

秩父別町立
秩父別小学校
6学年

中原 天鼓

【特別支援学校小学部の部】

砂川市立中央小学校 特別支援学級 2学年

對馬 心海



◆北海道教育長賞

【低学年の部】

釧路市立鳥取西小学校 3学年

水口 心遥

恵庭市立恵庭小学校 2学年

三橋 葵

【高学年の部】

小樽市立朝里小学校 6 学年 井上 舞
札幌市立二条小学校 5 学年 小坂井紗良

【特別支援学校小学部の部】

旭川市立雨紛小学校
特別支援学級 6 学年 渡辺 希空

◆HBC賞◆

【低学年の部】

砂川市立北光小学校 3 学年 亀谷 美琴
北広島市立西の里小学校 3 学年 河井 樹

【高学年の部】

釧路市立愛国小学校 4 学年 柴田 千星
恵庭市立松恵小学校 6 学年 吉田 日和

【特別支援学校小学部の部】

函館市立中の沢小学校
特別支援学級 5 学年 植松 良芽

◆北海道新聞社賞◆

【低学年の部】

網走市立潮見小学校 3 学年 国金 洸人
音更町立下音更小学校 2 学年 岡村 鈴奈

【高学年の部】

北広島市立東部小学校 6 学年 和田美花里
苫小牧市立沼ノ端小学校 6 学年 工藤 心春

【特別支援学校用学部の部】

北広島市立東部小学校
特別支援学級 5 学年 石山 夕良

◆北海道歯科医師会長賞◆

【低学年の部】

余市町立大川小学校 3 学年 赤石日菜子
様似町立様似小学校 2 学年 真壁桃永乃

【高学年の部】

恵庭市立恵庭小学校 5 学年 三浦 雫
札幌市立南白石小学校 6 学年 岩崎 唯愛

【特別支援学校小学部の部】

北広島市立東部小学校
特別支援学級 6 学年 遠藤 直宏

◆佳作◆

【低学年の部】

福島町立吉岡小学校 1 学年 櫻庭 杏華
函館市立亀田小学校 2 学年 櫻井 彩乃
福島町立吉岡小学校 2 学年 本間ゆめの
旭川市立雨紛小学校 1 学年 石塚さくら
旭川市立台場小学校 1 学年 石山 結菜
旭川市立台場小学校 1 学年 鷺見 志
歌志内市立歌志内学園 3 学年 石井 杏奈
歌志内市立歌志内学園 3 学年 西本 優歩
小樽市立朝里小学校 1 学年 中坂 有里
小樽市立朝里小学校 1 学年 山田 心晴

遠軽町立丸瀬布小学校 3 学年 森谷 健信
岩見沢市立第一小学校 2 学年 斎藤 優羽
美瑛市立中央小学校 2 学年 山本 凜風
栗山町立角田小学校 3 学年 田中 明奈
別海町立野付小学校 1 学年 長内 新汰
美瑛市立東小学校 2 学年 森本 玲
恵庭市立恵庭小学校 1 学年 関 純大
千歳市立泉沢小学校 2 学年 大野 純怜

【高学年の部】

函館市立大森浜小学校 4 学年 木村 柚花
函館市立中の沢小学校 5 学年 松岡 結菜
旭川市立台場小学校 4 学年 板倉 春歌
旭川市立緑新小学校 6 学年 菅野 華菜
砂川市立空知太小学校 5 学年 佐藤 和幸
小樽市立朝里小学校 4 学年 笈田 陽向
北見市立南小学校 4 学年 棗 由奈
興部町立沙留小学校 6 学年 加賀ななせ
足寄町立螺湾小学校 5 学年 小川 紗生
帯広市立西小学校 5 学年 三宅美沙希
登別市立登別小学校 4 学年 宋 子奕
栗山町立角田小学校 4 学年 石 結奈
岩見沢市立南小学校 5 学年 久保 悠埜
中標津町立中標津東小学校 6 学年 井口 結翔
余市町立大川小学校 4 学年 工藤早智子
様似町立様似小学校 5 学年 佐久間 渚
苫小牧市立若草小学校 4 学年 菊池 百
北広島市立東部小学校 4 学年 三宅 敦土

【特別支援学校小学部の部】

函館市立大森浜小学校
特別支援学級 1 学年 角 桃葉
函館市立中央小学校
特別支援学級 2 学年 佐藤 夏愛
函館市立大森浜小学校
特別支援学級 2 学年 長谷川健人
函館市立中央小学校
特別支援学級 3 学年 長谷川 佑
滝川市立滝川第三小学校
特別支援学級 2 学年 渡辺 春斗
砂川市立中央小学校
特別支援学級 5 学年 長田 英士
奈井江町立奈井江小学校
特別支援学級 5 学年 小林 樹
苫小牧市立大成小学校
特別支援学級 2 学年 大場 愛翔
北広島市立緑ヶ丘小学校
特別支援学級 2 学年 渡邊 晴仁
北広島市立緑ヶ丘小学校
特別支援学級 6 学年 玉木 結香

第72回北海道学校保健・安全研究大会釧路大会の報告

令和7年10月26日(日)に、「釧路市生涯学習センターまなぼつと幣舞」において第72回北海道学校保健・安全研究大会が行われました。



「生涯を通じて、心豊かにたくましく、北の大地を生きる子どもの育成を目指して～二つの国立公園に抱かれた釧路から力強く生きる子どもの未来に向けて～」の大会主題のもと、道内各地から104名の方々に参加していただき、震災・学校支援チーム（EARTH）員（姫路市立荒川小学校主幹教諭）三村理加氏による基調講演（オンライン講演）と3つの部会による研究協議を行いました。

学校保健功労者表彰の表彰式には10名の受賞者が出席され、松家会長より表彰楯を授与されました。今年度は、88名の学校医、学校歯科医、学校薬剤師、教員の方々が受賞されました。



研究大会の概要は以下のとおり。

【基調講演】（要旨）

演題 子どもを守るために ～地震災害と心のケア～

講師 震災・学校支援チーム（EARTH）員
姫路市立荒川小学校 主幹教諭

三村理加氏

◆はじめに

私は兵庫県の姫路市立荒川小学校で勤務しながら、震災・学校医支援チームEARTHの一員として活動しています。本日は「子どもを守るために」というテーマで、地震災害と心のケアについて考えていきたいと思います。阪神・淡路大震災から30年が経ち、私たちは多くの経験と教訓を積み重ねてきました。その知見をもとに、災害時に学校が果たす役割や子どもたちの心のケアの重要性についてお話します。

◆EARTHの設立と活動

EARTHは、阪神・淡路大震災の経験を基盤に、2000年に兵庫県教育委員会の主導で設立されました。全国的にも珍しい、教職員による災害支援チームです。現在は243名が所属し、5つの班に分かれて研修を積み、災害時には枠を超えて活動します。

活動は「平時」と「災害時」に分かれます。平時には講演や助言、防災教育の推進を行い、災害時には学校の早期再開を支援します。最初の派遣は2000年の北海道有珠山噴火で、以降も全国の被災地に赴き、学校再開や心のケアを支援してきました。

◆災害時の学校の役割

学校は災害時は避難所となり、地域住民の命を守る場となります。同時に、子どもたちの学びを保障する場でもあります。早期の学校再開は、子どもたちの心の安定に直結します。たとえば、

2018年の北海道胆振東部地震では、最大深度7の揺れと全道停電が発生し、1,891校が休校しました。避難所となった学校は350校に及びましたが、教育委員会と教職員の努力により、9月18日には全校が再開しました。学校再開は、「日常の回復」を象徴し、子どもたちの心の支えとなりました。

◆子どもたちの声と行動

派遣先で耳にした子どもの泣きは、災害の現実を映し出しています。

「家に穴が開いた。今は詰め物をしている。」

「ヘリコプターで救助されたけど、猫は家に置いてきた。」

「避難所生活になったけど、お母さんが『貴重な経験だよ』と言ってくれた。」

一見元気そうに見えても、心の奥には不安や恐怖が残っています。災害後には「災害ごっこ」と呼ばれる遊びが見られることがあります。椅子を揺らして震度を再現するなどの行動は、子どもたちが「助かった」という安心感を再認識するためのものです。危険がなければ見守り、寄り添うことが大切です。

◆教職員のストレスとケア

災害時、教職員自身も被害者です。避難所運営や学校再開準備に追われ、心身の負担は大きくなります。阪神・淡路大震災では、教職員が自宅に戻らず学校で寝泊まりする例も多く、結果としてバーンアウトに陥る人もいました。子どもたちの心のケアと同時に、教職員自身のケアも欠かせません。

◆阪神・淡路大震災の教訓

1995年の阪神・淡路大震災では、6,500人が亡くなり、学校は避難所として18万人を受け入れました。児童の安否確認や学校再開が遅れ、PTSDを抱える子どもやバーンアウトする教職員が多数生まれました。この経験から「学校再開が心のケアに直結する」という認識が広がり、東日本大震災以降の支援活動に活かされています。

◆東日本大震災での実践

2011年の東日本大震災では、学校が遺体安置

所となるなど過酷な状況がありました。それでも早期再開を目指し、教育復興と心のケアを推進していくことになります。

養護教諭は人命救助や衛生活動に携わり、学校保健の視点から子どもたちを支えました。ここでも「命を守る」「避難所として機能する」「早期再開」「心のケア」という学校の役割が確認されました。

◆ロードマップの重要性

災害後の学校医再開には、時系列で活動を整理した「ロードマップ」が有効です。活動を「見える化」することで、役割分担が明確になり、教職員が一人で抱え込まずに済みます。学校保健委員会を活用すれば学校医やスクールカウンセラーを巻き込み、チームで取り組むことができます。

◆能登半島地震の事例

2024年1月1日の能登半島地震では、珠洲市の学校が津波被害を受けました。避難所と共存しながら学校再開を進め、上下水道が使えない中で凝固剤を使ったトイレやアルファ化米の給食が導入されました。子どもたちは「家がべっちゃんこになった」「津波が怖い」と語りながらも、先生の声掛けや日常の再現によって安心を取り戻していきました。避難訓練も心のケアを意識し、ゆっくり経路を確認しながら行われました。

◆まとめ

災害時に学校が果たす役割は大きく、

1. 命を守ること
2. 避難所として機能すること
3. 早期再開を目指すこと
4. 教育復興と心のケアを推進すること

この4つが柱となります。子どもたちの心のケアは、学校再開と日常の回復に直結します。教職員自身のケアも含めて、チームで支え合うことが不可欠です。阪神・淡路、東日本、胆振東部、能登半島と続く災害の経験を積み重ね、私たちは「子どもたちを守るために」歩み続けています。

◆むすび

災害はいつ起こるかわかりません。しかし、経

験を共有し、ロードマップを描き、チームで取り
組むことで、子どもたちの命と心を守ることがで
きます。学校は地域の拠点であり、子どもたちの
未来を支える場です。私たち教職員は、その使命
を胸に、これからも災害に備え、心のケアを大切
にしていきたいと思えます。

研究協議

第1部会 「学校経営と組織活動」

～心豊かにたくましく生きる力を育むための
特色ある学校経営と組織活動の進め方～

<提言>

「北海道釧路鶴野支援学校における
学校保健と組織活動」

【提言者】

北海道釧路鶴野支援学校 教頭 山川 ゆき

【助言者】

(一社)北海道薬剤師会 会長 林 正敏
北海道釧路東高等学校 校長 汐川 裕彦

【運営】

釧路市立鶴野小学校 校長 土居 慎也

【司会】

釧路市立中央小学校 校長 小川 一法

【記録者】

釧路市教育委員会 係長 宮原 美里

第2部会 「心の健康」

～豊かな人間性と社会性を育み、
心の健康の保持増進を目指す教育の進め方～

<提言>

「子どもの心を支える保健室と学校全体のつながり
～生き抜く力を育む生徒指導・健康相談の実際～」

【提言者】

釧路市立北中学校 養護教諭 堺田 悦子

【助言者】

(一社)釧路市理事会 理事 堀口 貞子
釧路市立共栄中学校 校長 鈴木 穰

【運営】

釧路市立幣舞中学校 校長 藤森美由紀

【司会】

釧路市立春採中学校 校長 河原 和範

【記録者】

釧路市教育委員会 係長 赤本 純基

第3部会 「現代的健康課題」

～多様化する現代的健康課題に
適切に対応するための保健活動の進め方～

<提言>

「自分の歯や口の健康に関心をもち、主体的に
実践できる子どもの育成を目指した保健教育」

【提言者】

鶴居村立鶴居小学校 養護教諭 三輪 彩水

【助言者】

(一社)釧路歯科医師会 理事 大澤 正幸
標茶町立標茶中学校 校長 須藤 光秋

【運営】

釧路市立光陽小学校 校長 長谷川順子

【司会】

釧路市立愛国小学校 校長 富田 義宏

【記録者】

釧路市教育委員会 係長 寺嶋 純哉

お知らせ

第73回
北海道学校保健・安全研究大会
後志(倶知安)大会大会
開催日/令和8年10月18日(日)
開催地/倶知安町

応援ありがとうございます!!

◆岩田地崎建設株式会社

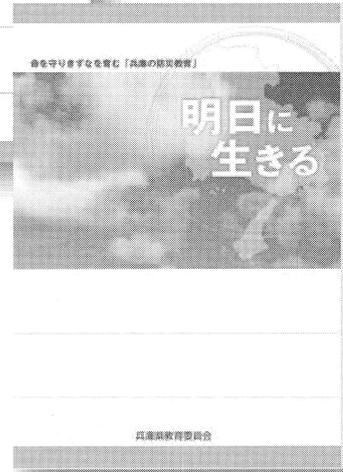
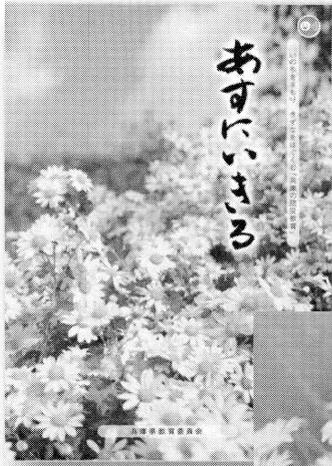
◆株式会社アインファーマシーズ

毎年、寄付をいただいております。

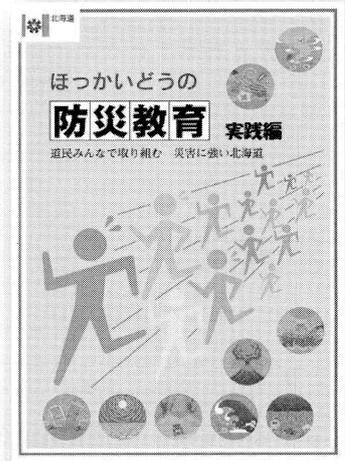
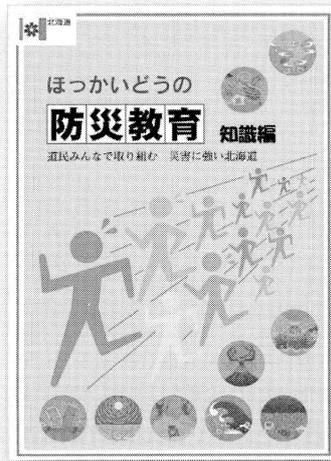
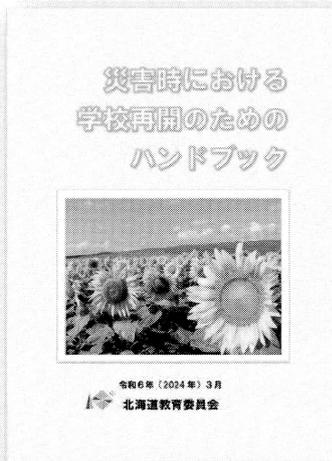


【兵庫県の防災教育】 防災教育副読本「明日に生きる」

小学校低学年版・高学年版・中学生版・高校生版



【北海道の防災教育】 ハンドブック 知識編 実践編

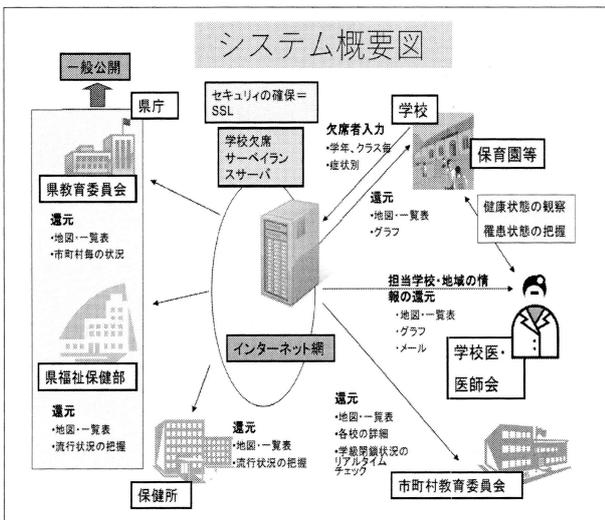


学校等欠席者・感染症情報システムについて



- 本システムは、国立感染症研究所の研究者によって開発されましたが、2013年4月より日本学校保健会が経費を負担して運営しています。費用負担はなく、無料で利用できます。
- 2024年度は、全国の保育園の53.7%、小学校の62.5%、中学校の60.3%、高等学校の80.4%が本システムに登録されており、特別支援学校やこども園も加えると4万施設を超えました。
- 学校や保育施設で入力された欠席者情報が学校欠席者・感染症システムサーバーにより教育委員会、保健所、学校医、医師会の皆様で共有され、感染症の感染拡大防止、情報の共有に役立ちます。
- 本システムの申込は、都道府県や市区町村の自治体からお願いいたします。

《本件に関するお問い合わせ・申込窓口》 株式会社エスイーシー 東京システムセンター
system@hokenkai.or.jp



利用するとこんなメリットがあります

メリット① 早期探知

感染症による欠席者情報を日々入力してデータ化することで感染症の流行を早期に発見することができます。

メリット② 情報共有

教育委員会・保育担当課・保健所・校医等の関係機関が感染症の発生状況をリアルタイムに把握して、情報を共有することができます。

メリット③ 省力化

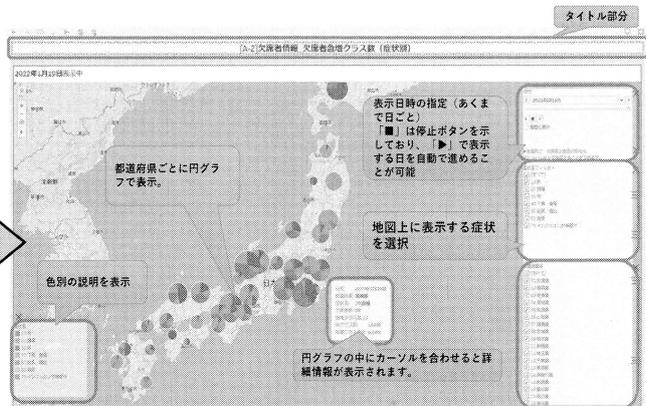
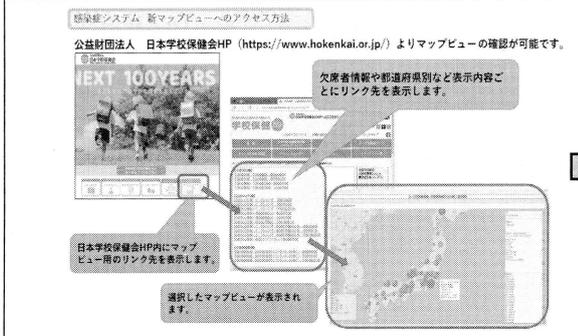
出席停止報告、出席停止月報、臨時休業報告の届出書類をオンラインで送付することができ、ペーパーレスと担当者の負担軽減に役立ちます。

メリット④ データ活用

入力データが保存されるので、集計表やグラフを作成して感染症対策に活用できます。

マップビュー 各学校や保育施設の感染状況が円グラフで表示。地域の状況を一目で把握

感染症システム マップビューへのアクセス方法



マップビューでは、インフルエンザや水疱瘡など感染症の症状別に当日から1年前までの感染状況 (出席停止人数など) が円グラフや表などで表示されます。自分の施設 (学校、保育園など) がある地域はもちろん、全国の感染状況を確認できます。